



## 4月の予定

1 金	17 日
2 土	18 月
3 日	19 火
4 授業開始 月 宿題の解答 北辰〆切日	20 中3 第1回受験情報講座 水
5 火	21 木
6 IDカード用の写真撮影 水	22 金
7 木	23 「自由通塾日」 5:00～9:00 土 中3 北辰対策 7:00～9:00
8 中3 英連語テストを実施 金 中3 志望校調査表を配布	24 中3 北辰公開テスト 日
9 土	25 カリキュラムの調整週間 月 中2「4月の単元まとめ」
10 第1回父母会 日 詳細はプリント参照	26 小学生・中1 火 「4月の単元まとめ」
11 中3・中2・中1 月 部活動とクラスの調査	27 学力試験日程と範囲の発表 水 中3「4月の単元まとめ」
12 火	28 木
13 水	29 授業を行います 金 (時間変更の予定)
14 木	30 「自由通塾日」 5:00～9:00 土 中3 理社 7:00～9:00
15 中1 英単語テストの開始 金	『第1回早稲田学力試験』は 5月6日(金)から各学年ごと に実施する予定です。 ただし、学校の予定に合わせ 変更することもあります。
16 「自由通塾日」 5:00～9:00 土 中3 理社 7:00～9:00	



昨年同様、3月10日に公立高校入試の合否発表がありました。私学の入試を終えてから公立の受検日まで5週間もの期間があります。塾生全員が志望する私立高校には受かっているため、この5週間は最後の追い込みとして、どのように受験勉強に打ち込めたかが問われる時間です。毎年この時期には一部の塾生にダレた気分や「受かるだろう…」と油断が見受けられます。しかし多くは、それなりに集中し、自主的にC教室で勉強する姿が多く見られました。「受きたい学校を受ける」という塾の基本方針からすれば、不合格者が出るのは致し方がないことですが、今年受験に對しての反省と総括を述べることにします。

### ※県公立高校の受験結果

	受験数	合格数	不合格
川越	4	4	
川越女子	3	2	1
川南	5	4	1
市立川越(国際)	1	1	
所北(理数)	3	2	1
所北	4	3	1
所沢	4	3	1
芸術総合(舞台)	1	1	

### ●受験結果から

塾生の25名が公立に挑戦しました。合格率は80%になります。予想よりは良い結果となりました。残念なのは、川南受験で当日得点が合格点を上回っていたにもかかわらず不合格となった生徒がいたことです。(内申点が低かった)また、内申点や北辰偏差値では十分に合格ラインを越えるにもかかわらず、不合格であった者が一名。ただし普段の授業態度からは、実力がついているとは思えませんでした。他は、合格の可能性がボーダーライン上で、合否は頑張り次第だったという生徒、合格圏まで達していなかった生徒でした。他塾では、可能性の低い受験校は挑戦させないと聞くこともありますが、稲門塾の進路相談は、あくまでも受験生とご家庭が主体と考えているため、合格の可能性については、客観的に伝えるだけです。不合格の確率が非常に高ければ、志望校の変更を勧めますが、決めるのは生徒本人と父母の方です。

また、合格した中にはボーダーライン上だったと思える生徒もいます。合格したのを良しとして高校での努力をおろそかにすると、その後が大変です。決して努力を無にしないように心がけてほしいものです。

### ●今後の対応策として

今後様々な対応を実施していく予定ですが、今年も、4月下旬に「受験情報講座」を開きます。

## ご報告

### 2016年「高校入試の結果」

塾生の高校入試の合格状況を記載します。(在籍数 30名)

#### ▼『県公立高校入試結果』

川越高校	4名
川越女子高校	2名
所沢北高校(理数)	2名
所沢北高校	3名
所沢高校	3名
川越南高校	4名
市立川越高校(国際)	1名
芸術総合高校(舞台)	1名

#### ▼『私立高校入試結果』

##### [県内私立]

秋草学園高校(特選1、選抜α1)
川越東高校(理数3)
狭山ヶ丘高校(I類1、II類1、III類2)
城西川越高校(特選1、特進1)
城北埼玉高校(普通1)
聖望学園高校(S特選1、特選1)
星野学園高校(III類3、特進2、S類1、α1、β2)
武蔵越生高校(選抜1)
山村学園高校(特進1、選抜1、進学2)
山村国際高校(普通1)



##### [都内私立]

錦城高校(特進1、普通1)
中央大学附属高校(普通1)
日本大学豊山高校(普通2)

### 3学期期末試験結果の講評

期末テスト  
結果表

得点分布	英語		数学		国語		理科		社会	
	中2	中1	中2	中1	中2	中1	中2	中1	中2	中1
100点	3	1	2		1		1	1		
99～95点	5	6	7	4	2	3	4	1	4	1
94～90点	8	6	10	2	7	10	2	5	4	2
89～85点	7	6	3	7	10	2	1	5	1	3
84～80点	4	5	1	5	8	7	5	8	5	5
79～70点	4	1	6	5	2	4	7	7	8	7
69～60点		3	2	1		3	6	1	5	4
59～50点		1		4	1		4	1	2	3
49～40点							1		2	3
39以下				1						1
塾内最高点	100	100	100	98	100	98	100	100	98	98
塾平均点	89	86	89	79	85	85	76	83	77	72

### ※西、入間川、柏原、中央中の4中学集計

いつも通り、2週間の定期テスト対策をしましたが、その結果から…

●現中2生は各中学ともに、トップ層は勉強に集中できていて、お互いに切磋琢磨しています。各中学でも上位が多いです。ただしABクラスは今ひとつ集中力に欠けています。授業でざわつく生徒がいるのが気になります。これから一年間ケジメをつけることです。

●現中1生は、上位生はトップテンを占めていますが、決して安定した学力とはいえません。テスト前のみの勉強で終わっています。日頃からいねいに勉強することを心がけてください。成績が振るわない生徒は、「サボりたい」という気持ち乗り越えること。何事にも面倒がらないことです。

### クラスだより

(記 満理)

今月から新学年としての授業の始まるこの時期は、生徒にとっても期待と不安がうかがわれ、こちらも毎年えりを正す気持ちになります。去年は頼りなく見えた五年生。六年生になると、一年間の確かな重みを感じます。

初めましての五年生。今年は積極的な生徒が多く、これからは楽しみです。六年生は中学生へ。新たな生活が始まり、生活だけでなく体も心も変化の大きいこの年は、その分だけ気合いも入ります。中二生。中だるみとよばれるこの学年を、やるべきことはやらなければいけないということをいかに維持していけるか、わたしにとっては、不安と挑戦の学年でもあります。いよいよ受験生となる中三生。多少の緊張感も感じますが、冷静な生徒が多く、今まで以上に着実に伸びていくことを願っています。

卒業して行く中三生。それぞれ入塾してきた時を思い出し、懐かしさとさびしさとうれしさが入り混じります。いろいろな結果があったかもしれません。でもすべてはこれから始まっていきます。どうぞ良い高校生活を送ってください。

ぐんと空気がやわらぎ、一気に花が開き、ようやく春がやってきました。実りある一年にしましょう。

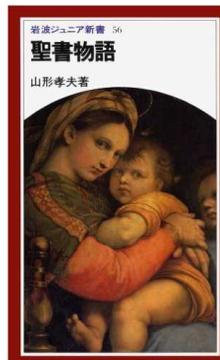
### 図書だより

(記 雅也)

この春、旅立ちや新たな幕開けを迎えるのにふさわしい本。そんな、紹介したい本を色々考えました。結論が**山形孝夫**著『**聖書物語**』(岩波ジュニア新書)です。

日本国内だけなら、それほど必要ないかもしれませんが。ただ、加速度的に国際化する中、ベルギーのテロを始め国外の出来事の影響を理解したり、欧米の人とふれ合ったりすることがますます大切になっていきます。それに対して、ベースにあるキリスト教や聖書について、ある程度知っておくことは不可欠でしょう。

だからといって聖書を読むというのは、結構ハードルがあります。キリスト教を信じていない人にとって、神は当然存在し、その子イエスは絶対であるという形で描かれることに対して、違和感ばかり感じてしまうからです。そこで挙げたのが『聖書物語』。ノアの箱舟、バベルの塔、パンドラの箱、モーセの十戒(じっかい)、ダビデとゴリアテといった、キリスト教以前の旧約聖書の話から、馬小屋で生まれ、最後の晩餐(ばんさん。夕食)、復活といったイエスのことを描いた新約聖書の話までが、名画と共に読みやすく紹介されています。どこかで必ず習うことではないけれど、最低限の教養として知らないともあまりに恥ずかしい話ばかり、そして意外と面白いはず。ちなみにこの本に書かれていることではありませんが、ダビデはトランプのスペードのキングのモデル、クリスマスはイエスの生まれた日ではないなんてことも、聖書にまつわる豆知識です。



際の助言に重点を置いている。学力、いわゆる偏差値だけでの高校選びはしていない。今後の努力の可能性を考え希望する学校の校風、沿革、指導法、在校生の雰囲気や卒業生の進路から、よりの確かな高校選びを助言することをこころがけてきたし、今後もこの方針は変わらず続けていくだろう。

### ◎今年の受験生に贈る…総括

今年の受験結果はレベルの高いものだった。受験生のこれまでの成績を考えれば、当然の結果であったが…。私自身は反省点が非常に多い。私を含めて受験生全員に言いたいことは、「なぜ、このような結果になったのか」という現状を分析することである。合格した人には、余裕で合格した者、薄氷を踏む思いでの合格者…がいる。いずれにしる「勝って兜の緒を締めよ」である。つぎの目標を持って更なる努力をしよう。

第一志望校が不合格だった人は、やはり失敗した原因を徹底して考察することである。その上で次の目標のための改善を考え、1年後、3年後の自分の姿を思い浮かべることである。公立高校がダメだった人は、必然私立高校への進学となるが、進学先の私立高は、受験した公立高校と同等、いや進学面を考えればより優れた学校である。堂々と進学先で勉学はもとより部活動に交遊にと、3年間の青春を謳歌してほしい。

今年の受験生諸君は、それなりにしっかりと受験勉強に励んだと思う。このことを次の学年の人達に、ぜひしっかりと伝えてほしい。3年後、進路の報告に塾を再訪してくれることを期待して待っています。 Good Luck!

### 【今月の野】

カタクリ

(記 玉美)

春になるといち早く花を咲かせるカタクリ。うつむいて咲くピンク色の花がとても可憐です。

多くの草花は、花が終わっても茎や葉はずっと残っていますが、中には、地上に現れているのがごく短い期間だけというものもあります。カタクリはその代表格。3月に葉を出し、下旬頃から10日ほど花を咲かせ、5月になると溶けるように消えてしまいます。まるで、存在がなかったかのように。その様子から、「春のはかない命」「春の妖精」(スプリングエフェメラル)などと素敵な呼び方もされています。

埼玉では希少種で、お隣入間市の牛沢は有名ですが、市内にも立派な(?)自生地があるのですよ。稲荷山北傾斜地、中央児童館プラネタリウム裏の傾斜地です。散歩がてら見に行ってみてください。



### 塾長の独り言

#### ◎受験結果に思う

毎年のことながら公立高校入試結果から、不合格者をゼロにしたいと思うが、この可能性は少ないだろう。生徒が行きたい高校を受験するのではなく、合格可能性の高い高校を強く勧めれば、不合格者はゼロに近くなるのだろうが…。毎年毎年この二律背反に心痛む時である。

稲門塾の受験指導は、受験生と父母の方が主体であるが、多感な青春の3年間をどのように過ごしたいのか。高校卒業後どのような進路を取りたいのか。また家庭ではどのようにそれをフォローするのかをよく考え、話し合った上で、進学する高校を選んでほしいと常に考えている。そのため私は高校選択の